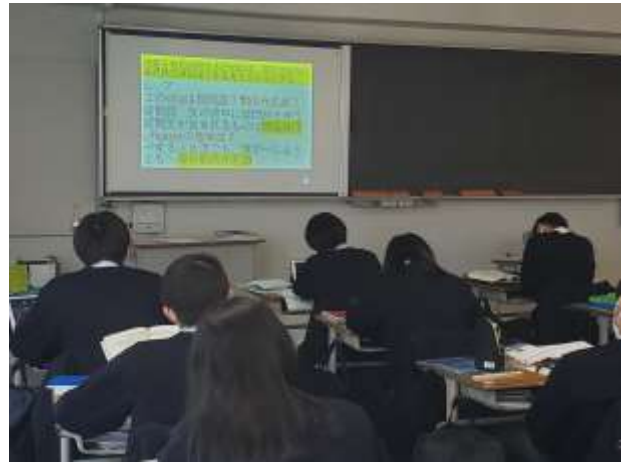


## ○本校教員による 帝京大学 過去問解説の様子と生徒の感想



### ☆生徒の感想

#### 2年 F.Jさん

英検などでも出てくる長文を解く時は、文脈から判断して問題を解くことが大切ということを知ることができた。単語や熟語、語彙などの知識は多いほど問題を解く上で有利になってきて、暗記ではなく読解や文法問題の中で意識して目に触れさせる機会を作ればいいと聞き、今までは一つの問題が終わったら次に進んでいたが、一つ一つの問題に意識を向けて、少しでも知識を深められるようにしていきたいと思った。また、後ろを振り返り復習していくことも大切だと思った。一回問題を読んだら終わりではなく、多読をして目を英語に慣らしていかなければいけないと感じた。苦手なアクセントの問題では、日常的にアクセントに意識して、単語の意味だけを理解するのではなく、発音に注意を向けて学習を行っていききたいと思った。知らない単語が出たら関連した知識を覚えることで、効率的に英語を学ぶことができるので、これからの学習に活かしていきたいと思った。

#### 2年 K.Bさん

帝京大学の総合型選抜は準備をすれば十分に合格可能で、他の大学での受験にも役立つので力試しとして併願で受ける人もいるそうです。英語の長文読解問題は、2月の一般選抜に比べて文章量が少なく、ほとんどの単語が高2までに触れるものだそうです。また、消去法でたどり着ける問題もあります。今回の講演で、これからの英語の学習を見直すきっかけとなりました。例えば、分からない単語を調べる際に、その単語の近くにある似たような単語も一緒に覚えるというやり方はとても納得しました。一気に3、4個の単語を覚えることができ、ボキャブラリーも増えるのでこれからその方法で勉強していきたいと思いました。また、帝京大学の総合型選抜の問題を基準に勉強していけば点数も取れるようになるので聞いたので、参考にしたいと思います。